

# 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第8回） ワークショップまとめ

開催日時 平成30年12月12日（水）14:00～16:00

会場 宝塚市役所3階 大会議室

出席者 まちづくり協議会（39）、欠席（4）  
教育委員会学校教育部 羽田室長  
学校教育課 神原副課長  
宝塚市社会福祉協議会 埜下  
関西総合研究所 宮本 他  
OM環境計画研究所 大森 他  
宝塚NPOセンター 馬越  
市民交流部 新城課長  
市民協働推進課 山田係長 他

## 1 ワークショップの概要

ファシリテーターの久保田氏（宝塚市西山まちづくり協議会会長）より、本日のワークショップの概要について説明があった。会議のルールとして、「知り合う」、「リラックス」、「つぶやく」、「聞き合う」、「批判しない」ということが共有された。

また、「自己紹介シート」を次回の代表者交流会で共有する旨及びワークショップの様子の写真をまちづくり協議会のブログなどで使用する可能性がある旨説明があった。

## 2 自己紹介

各自記入した「自己紹介シート」を基に、各班内の出席者同士で自己紹介を行った。

## 3 話題提供

ファシリテーターの久保田氏より、「まち（地域）の資源再発見」、「宝塚コミュニティ・スクール」、「情報発信研究」のテーマごとに分かれた各班に対し、それぞれのテーマにおけるワークショップの流れなどについて説明があった。

## 4 ワークショップ

各班にて、それぞれ情報・意見交換が行われた。

ポストイットを使用し、青のポストイットには「現在の状況」、赤のポストイットには「今後したいこと」、緑のポストイットには「その他」の内容を記載した上、これらを模造紙上で整理する方法で行われた。

## 5 全体発表

ワークショップでの情報・意見交換の内容について、各班3分程度で発表を行った。

発表内容の概要については、以下のとおり。

<1班> まち（地域）の資源再発見 グループ

- 売布神社や中山寺、清荒神など神社仏閣が多い。できるだけ多くの方に見てもらえるようアピールが必要。歴史的資料としてもとらえることができる。
- 宝塚というまちが世界から認識されるまちになればよい。

<2班> まち（地域）の資源再発見 グループ

- 点在している名所を再発見・再認識するためにはウォーキングなどが非常に効果があるのではないか。サイクリングツアー、バスツアーなどの方法もある。
- 今あるものを利活用するというで、古民家の利用やお寺でのコンサート、般若心経の合唱などが挙げられた。

<3班> 宝塚コミュニティ・スクール グループ

- コミュニティ・スクールのねらいはバラバラの組織を一つにし、情報を共有するということ。
- 期待していることは、先生とのコミュニケーションがどう取られていくのかという点。
- コミュニティ・スクールを作ろうと思うと難しいが、既存のグループで取り組んでいることを継続してやっていくことから始めていけばよい。

<4班> 宝塚コミュニティ・スクール グループ

- 学校運営協議会という枠を作り、現状のままで進んでいけばよいと思う。
- 地域には色々な会議がある。一緒にまとめてしまうのがよい。

<5班> 情報発信研究 グループ

- 課題については、人材不足、経費不足、どれだけの人が興味を持って読んでいただけているかなどが挙げられた。
- 今後の取組としては、読み手に興味を持ってもらうことがより重要であるため、大事な話は根気強く掲載していく。また、あるまちづくり協議会では、6割くらいメールで案内ができています。メールを使えない高齢者もいるので、その点何か工夫が必要と考える。

<6班> 情報発信研究 グループ

- これからの取組については、広報誌に載せる内容について、結果報告にならないようこれからのことを載せるようにしていく。
- 各コミュニティの広報担当者が集まって情報交換を行いたい。その後、各地域を回って各地域のニーズに合った広報誌を作成するお手伝いをできるところまでいけたらよい。

6 ふりかえり・今後の予定

ファシリテーターの久保田氏より、「ふりかえりシート」の記入などについて説明があっ

た。

市より、次回の代表者交流会の開催日時及び場所について以下のとおりお知らせした。

【平成30年度第9回宝塚市まちづくり協議会代表者交流会】

日時：平成31年1月9日（水） 14:00～16:00

場所：市役所 3階 3-3 会議室

以 上